

環境省生物多様性センターは、環境省自然環境局のひとつの機関として平成10年(1998年)に設立されました。

生物多様性センターでは、「調査」「情報」「標本資料」「普及啓発」の4つの柱のもとに総合的に業務を行っています。

## 《調査》

### 自然環境保全基礎調査(緑の国勢調査)の実施

わが国の自然環境の現況とその変化を把握するため、植生、動植物の分布、河川・湖沼などの陸水、干潟・サンゴ礁などの海域にいたる全国レベルでの基礎的な調査を企画・実施しています。

## 《情報》

### 生物多様性情報の収集・管理・提供

生物多様性情報システム(J-IBIS)を運用し、自然環境保全基礎調査の成果など収集した自然環境・生物多様性に関する情報のデータベース化を図り、インターネットなどによって広く情報提供しています。

(<http://www.biodic.go.jp/J-IBIS.html>)

## 《標本・資料》

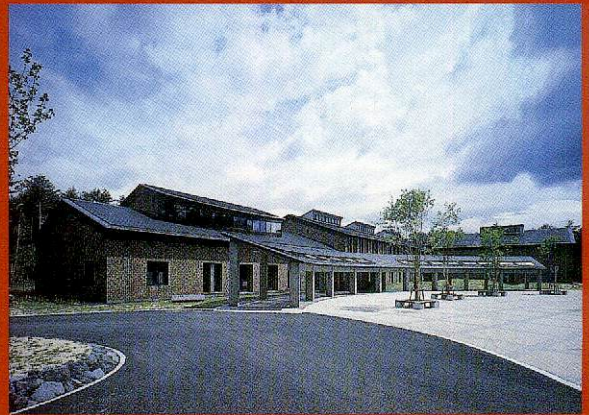
### 文献等資料および動植物標本の収集・保管

生物多様性に関する各種文献等を収集し、保管しています。また、トキなど希少野生動植物をはじめとする重要な動植物標本を保存しています。

## 《普及啓発》

### 生物多様性の保全に関する普及啓発

収集・保管した各種資料を公開しています。また、展示室やホームページで日本の自然環境・生物多様性の現状や、その保全に向けての取り組みなどを紹介しています。



本書は次の方々の協力により作成いたしました。

《監修》

松井正文(京都大学大学院人間・環境学研究所)

《企画・執筆協力》生物多様性調査 遺伝的多様性調査検討会

太田英利(爬虫類担当:琉球大学熱帯生物圏研究センター)

小池裕子(鳥類担当:九州大学大学院比較社会文化研究院)

鈴木和雄(植物担当:山口県立大学生活科学部生活環境学科)

鈴木仁(哺乳類担当:北海道大学大学院地球環境科学研究科)

内藤親彦(昆虫類担当:神戸大学農学部)

西田睦(魚類担当:東京大学海洋研究所)

増田隆一(哺乳類担当:北海道大学先端科学技術共同研究センター)

松井正文(両生類担当)

《資料提供》

大場信義・佐藤安志・鈴木浩文・土屋公幸・戸田守・馬場芳之・本多正尚・牧雅之・松田洋一・湊和雄・山崎裕治・山城彩子・山本軍次・渡辺勝敏

《写真協力》

太田英利・黒須詩子・黒瀬奈緒子・鈴木和雄・中島朋成・土屋公幸・馬場芳之・増田隆一・松井正文・松田洋一・山城彩子・(株)エムピージェー・ネイチャープロダクション

《図版・イラスト》山本麻里

《デザイン》小島トシノブ(ノン・デザイン)

《制作》環境省自然環境局生物多様性センター・(財)自然環境研究センター

## 遺伝的多様性とは

平成13(2001)年6月 第1刷発行

《発行》



生物多様性センター  
Biodiversity Center of Japan

環境省自然環境局生物多様性センター

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1

TEL0555-72-6033 FAX0555-72-6035

Web ページ <http://www.biodic.go.jp/>



古紙100%再生紙 このパンフレットは再生紙(古紙含有率100%)を使用しています